



VS 活動！だれかのために・・・



5月の学校朝会が本日ありました。今月は、ボランティア・サービス活動(VS 活動)について子どもたちにお話をしました。

左の写真は、全ての教室に貼ってある「校訓」です。一番初めに書かれているのが「奉仕のできる子」です。この「校訓」は、若葉小ができてから、ずっと大切にしてきた「目標とする子ども像」です。

この「奉仕」という言葉が入った「校訓」は、珍しいのではないかと思います。私が3年前に赴任して、若葉小の歴史を紐解く中で、最初に心に刻んだのが、この「奉仕の心」を校訓にしてきた背景でした。歴代の

校長先生方の残してくださった資料を読み、緑化を大切に、ボランティアの精神を大切にされてこられたことが伝わりました。

自分のことばかりを考えるのではなく、「誰かのために動ける人」を目指して、創立からずっと子どもたちの心を育ててこられたのだと思いました。これは、若葉小の伝統として、今後も取り組むべきことだと思っています。

昨年度もこの時期に、「赤十字の父」と言われるアンリー・デュナンのことを取り上げ、子どもたちに話したのですが(<https://www.kumamoto-kmm.ed.jp/sch/e/wakabaes/files/116320/308754965.pdf>

昨年度の「輝くわかば」の記事をご覧ください。)、今年度も赤十字がもとになっている「気づき、考え、実行する」ボランティアの心を伝えたいと思いました。

そこで、本日の第1回学校朝会で、若葉小の良き伝統となった「奉仕の心」「VS 活動」を子どもたちと考えることにしました。

学校の花壇に水をあげることや、お年寄りに席を譲ること、学校や公園のゴミを拾うことなど、ちょっとした気づきで、「奉仕」は行動に移せるものです。そして、そのことが周りの人を幸せにするだけでなく、自分の心も温かくしてくれます。若葉校区も学校も教室も、もっと素敵な場所になっていくことでしょう。

毎週火曜日の朝に、委員会で呼びかける「VS 活動」も伝統として続いています。これからも、子どもたちと楽しみながら「奉仕のできる子」を目指して職員も頑張りたいと思っています。

家庭訪問 お世話になりました

4月22日の授業参観・懇談会に続き、家庭訪問もあり、お忙しい中に対応をしていただき、本当にありがとうございました。短い時間での訪問ですが、担任が保護者の方々と顔を合わせてお話をすることは、大切なことだと思っています。保護者の方々の思いもしっかり受け止め、子どもたち一人一人に向き合っていけるように取り組んでいきたいと思っています。ご協力、本当にありがとうございました。

朝、南門や東門に立つのが、私の日課です。子どもたちと「おはようございます」と言い合うと、1日が元気にスタートできます。そんな中、逆に「校長先生、いつもありがとうございます」と言ってくれる子どもたちがいます。最近は、高学年だけでなく2、3年生の子どもたちも言ってくれる時があります。素敵な子どもたちだなあと嬉しくなります。

